

本山で東日本大震災 孟蘭盆会を営む

お盆の期間中、本山と大谷本廟には約20万人の参拝者が訪れた。

東日本大震災の孟蘭盆会が8月14日午前、本山・阿弥陀堂で営まれ、京都市で避難生活を送る被災者や門信徒など5000人が参拝し、仏前に手を合わせた。

とめさせていただきまなつていかれた方々と益の法要にあわせていす」と挨拶。阿弥陀経お浄土での再会を待ちただき、有り難かった。9月中頃には仮設住宅に入り、南三陸町に再建された知的障害者施設の仕事に復帰した。

8月15日の午前に、本山・阿弥陀堂で戦没者追悼法要が営まれた。

◇

法話は、兵庫県宝塚市・圓龍寺の大村英昭前住職が、大震災の被災者の思いに心を寄せながら、「私たちの『慈悲』には限りがあり、お念仏申すことだけが思い遂げることのできる大慈悲心です。亡く

7月中旬から京都府 営住宅で生活する宮城 8月14日の午後から 宗門では、9月6日 午後0時50分から仙台市の仙台国際センターの東北教区 東日本大震災現地追悼法要」

法要は、ご門主が臨席されご焼香、橘正信総長が「被災された方々と共に、亡くなられたすべての方を思い追悼の誠を表し法要をつ

お念仏申すことだけが思い遂げることのできる大慈悲心です。亡く

お盆の期間中、本山と大谷本廟には約20万人の参拝者が訪れた。

8月15日の午前に、本山・阿弥陀堂で戦没者追悼法要が営まれた。